



しいのみつうしん

第6号

早いもので、もう2月も終わろうとしています。寒暖の差が大きくなり、体調を崩しやすい季節になりました。この時期、大人・子供に関わらず風邪の予防が必要になりますが、それでもかかってしまった時には咳止めや去痰薬等に加え、抗生剤等も処方されることがあります。

特に子供さんの場合、症状によって処方される粉薬（散薬）にはいろいろな種類があり、飲みやすいように味がついているドライシロップが出されることが多いはず。実は、飲み方によってはお薬の味が変わってしまったりするのですが、経験的に知ってらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。

今回は、粉薬についてご紹介します。

1 いっしょにのむと苦くなります

オレンジジュースやスポーツドリンク
粉薬)

ヨーグルトなど(酸味のあるもの)
ンDSW

クラリスDS・アテ（咳・鼻水の

ユナシン・フロモックス・エリスロシ

* これらのお薬はもともとがかなり苦い成分で、それを甘い味付けで飲みやすく作られています。

しかし、特にオレンジジュースやパインジュースなど酸味のあるものと一緒に飲ませると、薬をおおっているコーティングが破れてしまうため苦い味だけが残ってしまうのです。

子供さんが薬嫌いにならないためにも、避けるようにしてください。



* 他にも、ムコダインという痰をきるお薬は、ヨーグルトと一緒に飲むと味が悪くなるだけでなく、効果が落ちてしまうので避ける必要があります。

2 いっしょに飲んでも（食べても）味はかわりません

牛乳、アイスクリーム、ココアパウダー —— エリスロシンDSW・クラリスDS

* エリスロシンやクラリスは粉薬自体が苦いためヨーグルトにまぜると口の中で

長く味わってしまうため水や牛乳などで飲むほうが適しています。
その他のお薬は、フルーツ味がついていたり、抗生剤の性質もあってヨーグルトに混ぜて食べても問題ありません。

3 粉ミルクと飲むと便やおしっこが赤くなります

セフゾン

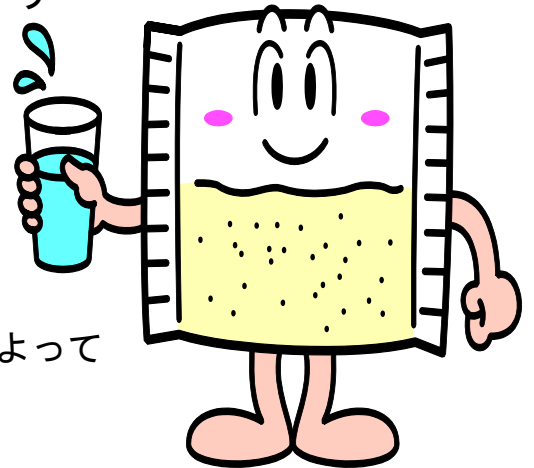
*セフゾンが粉ミルクのなかの鉄分とくっつくことで、鉄がそのままからだの外へ出ていってしまうので、このように色がつくことになります。

4 のみあわせには注意が必要になります

エリスロシンやクラリスDS ———— T-フビブ
ホクナリンテープ ———— T-フビブ

*T-フビブの中にはいっているテオドールというお薬の作用が抗生剤によって強く現れることがあります、手の震えが起こったり興奮してねむれないことがあります。

またホクナリンテープはT-フビブと作用が似ているため、相乗効果によって作用がつよくあらわれることがあります。しかし、量の調節によって防ぐことができますから、心配はいりません。



鉄剤 ———— セフゾン

*鉄とセフゾンの中の成分がくっついてしまうことで、セフゾンの効果が弱くなりますから、2時間くらい間をおいて飲んでください。

カルシウム、鉄剤など ———— ミノマイシン
(成分に金属を含むもの)

*ミノマイシンが鉄やカルシウム、マグネシウム、アルミニウムとくっついてしまい、吸収が悪くなったり、歯が黄色くなったりします。

今回取り上げたのは、一般にもよく知られているお薬ばかりですから、病院や診療所によっていろいろなお薬が処方されることと思います。中には飲み合わせの注意のあるお薬もありますから、分からないことがあれば処方医の先生やかかりつけの薬局までご相談されることをオススメします。

しいのみ薬局 関市上白金 105-1

☎0575-27-0130

Fax 0575-27-0131

しいのみセンター薬局 岐阜市北山 1-14-27

☎058-241-1818

Fax058-241-1839